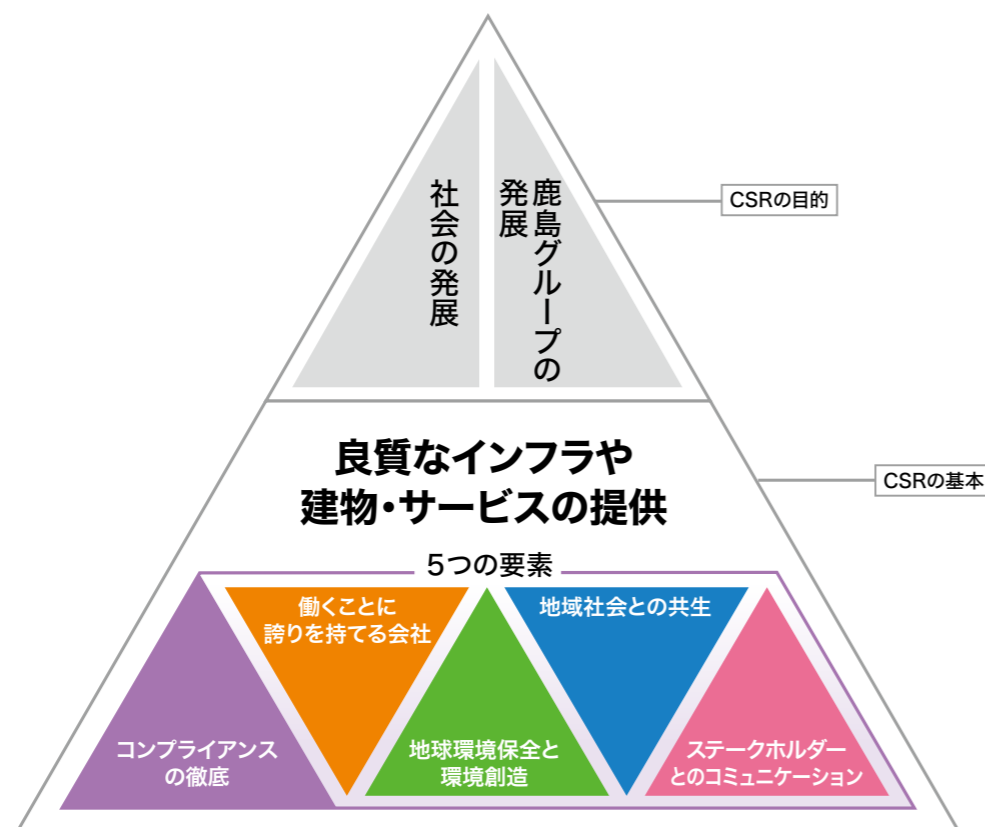


04 Our CSR

鹿島は「社業の発展を通じて社会に貢献する」ことを経営理念に掲げるとともに、「100年をつくる会社」を標榜しています。事業活動を通じた社会的責任の追求、そして事業活動にまつわる社会や地域の課題に取り組む社会貢献活動も推進しています。

鹿島グループのCSRの枠組み



CSRの基本的な考え方

当社は「鹿島グループのCSRの枠組み」を定め、CSR活動を推進しています。安全・安心で快適な社会の構築に寄与すべく、事業活動を通じて顧客の求める良質なインフラや建物・サービスを確実に提供し続けることが責務です。

そのプロセスにおいて、「コンプライアンスの徹底」「働くことに誇りを持てる会社」「地球環境保全と環境創造」「地域社会との共生」「ステークホルダーとのコミュニケーション」を5つの重要な要素と捉えています。

鹿島グループの社会貢献活動

当社が事業活動を行うにあたって、各拠点・現場は地域社会との関わりが大きく、その地域の一員としての活動も重要なコミュニケーションとなります。

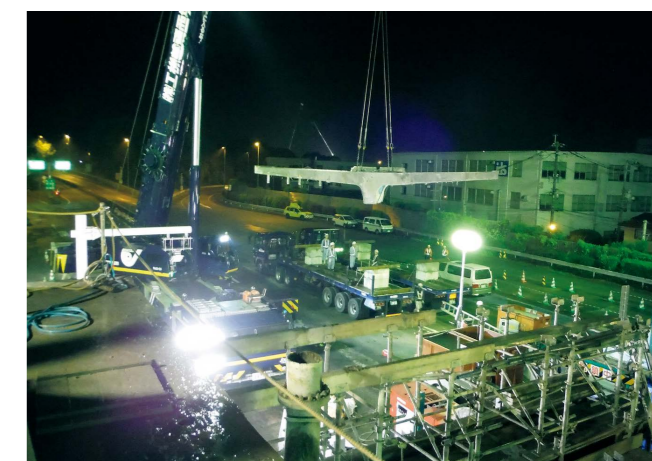
鹿島は、日ごろの事業活動を通じて、人々の安全で安心、快適な社会の構築に寄与することはもとより、自らが持つ技術や人材、拠点やネットワークといった強みや知見を活かし、事業活動

以外の場面でも社会貢献活動を積極的に進めています。災害復旧活動、地域貢献活動、環境保全活動、次世代教育などを重点的に取り組むとともに、社員有志によるボランティア活動を支援しています。さらに、財団を通じて、学術・文化・芸術の振興を図っています。

災害復旧活動

地震や水害等の自然災害が発生した際に、社会インフラの早急な再開に向けた調査と復旧作業が求められます。発災後の復旧活動などは、事業を通じて培った技術や経験を活かし、人々の安全や安心に繋がる活動であり、社会や経済の継続性にも直結することから、自らの大きな責任だと考えています。

2015年9月の鬼怒川堤防決壊、2016年4月の熊本地震など自然災害発生時においては、関係省庁や業界団体と連携のもと、適切なフォローアップとリーダーシップにより、復旧活動に貢献しました。



九州自動車道での復旧工事。昼夜問わずに工事が行われた



鬼怒川堤防緊急復旧工事には社員24名、協力会社47社、協力会社人員約3,000名が従事し、2週間で仕上げた

地域貢献活動

企業はコミュニティの一員であり、鹿島の拠点や現場も地域の一員として、コミュニティや周辺住民・関係者の理解を受けて事業活動を行っています。地域で共存していくためにも、各地域に適した活動を継続することが肝要です。日々の建設現場周辺の清掃や、通勤通学時の交通安全活動に積極的に努めています。また、地元の伝統行事やイベントへの参加・協賛を通じて、文化・芸術の振興や地域文化の継承、経済活性化に寄与しています。



仙台を流れる広瀬川における「第20回広瀬川流域一斉清掃」に鹿島関係者151名が参加



泉区まちづくり推進協議会が主催する「秋の一斉清掃」に泉中央78街区工事事務所の社員や協力会社の職長・作業員が計70名参加



「(仮称)イオンモール今治新都市新築工事」で地域児童とその家族500名を招待し施設内外の見学や重機への試乗なども実施

G7伊勢志摩サミットの カーボン・オフセットに協力

鹿島は、全国10か所に約1,000haの山林を所有しており、グループ会社のかたばみ興業に山林の管理・施業を委託しています。福島県と宮崎県に位置する3か所の社有林においては、森林吸収によるJ-VERクレジットの取得に努めてきており、現在約1,900t-CO₂のJ-VERクレジットを保有しています。今回2016年5月に開かれたG7伊勢志摩サミット開催に伴うCO₂排出量をオフセットする政府の企画に協力し、鹿島のクレジットから100t分を提供しました。また、金沢マラソンにおいても5t分を提供しました。

これまでクレジットの一部は、建設事業で排出されるCO₂のオフセットに活用し、5件のカーボンゼロ施工を実現しています。これからも社有林の



カーボンオフセット協力専用ロゴマーク

整備を進めるとともに、森林の持つCO₂吸収固定、生物多様性、森林体験や癒しなどの新しい環境価値を重視し、その保全活動を継続します。



J-VER制度登録林(宮崎県)

環境保全活動

環境活動は大きな社会問題です。鹿島では日ごろからさまざまな場面で、社員一人ひとりの小さな活動を積み重ねています。

たとえば、本支店・現場で取り組んでいる「エコキャップ活動」では、集めたペットボトルのキャップをワクチン代として寄付するだけでなく、ペットボトルの廃棄時にボトル本体・ラベル・キャップをきちんと分別する習慣が根付き、社員のリサイクル意識向上に役立っています。

現場で社員が着用する作業服についても、グループ会社の大興物産と協力し、2010年からリサイクルを進めています。全国からリサイクルされた作業服は2014年度までに約15,000着となり、その実



コアジサシ営巣地整備ボランティアに社員とその家族・友人24名が参加



愛知県の「企業の森づくり」に参画しており毎年2回植樹や伐採作業を実施。2016年6月は社員とその家族が計32名参加



技術研究所 葉山水域環境実験場の地元小学校でアマモに関する出前授業を実施



エコキャップ運動：2008年から2016年5月までで合計約368万個の実績となり、CO₂に換算すると27tの削減に当たる



社宅における親子ワークショップ。2010年度から開催している

■次世代教育

未来を担う次世代の育成は、社会全体の課題でもあります。鹿島も現場見学や職業体験の受入れを通じ、建設業について子供たちに知ってもらう機会を設けています。これらをきっかけとして、当社や業界に興味を持ち、自らの将来を考えてもらえるよう努めています。

また、大学での学びがどのように社会で活かされているのかを知る機会として大学生を対象とした「KAJIMA EXPO」を2014年度から開催しています。土木・建築の現場見学や女性技術者との交流の場を設けて、広く当社の現場での仕事に触れてもらいました。2016年度は新たに高校生向けプログラムも設けていく予定です。



大学生を対象とした「KAJIMA EXPO」で女性向けの「けんせつ小町フォーラム」を実施。2015年度は現場や技術研究所の見学会を開催



毎年「土木の日(11月18日)」に合わせて、地元の小学校から技術研究所の見学に招聘

■社員によるボランティア活動の支援

鹿島は、社員によるボランティア活動の支援も行っています。その中のひとつに、1993年から活動を継続している社員有志の団体「鹿島ボランティアネットワーク(通称KVネット)」があります。KVネットは毎年年末に施設にカレンダーや文具類など必要とされているものを届けたり、震災等が発生した時に社員の希望を受けて募金活動を行ったりしており、必要に応じて当社も社員へ



「長安口ダム施設改造工事」の現場で地元の阿南工業専門学校の生徒31名が見学会に参加



経済広報センター主催「教員の民間企業研修」。毎年夏休み中に、教員が民間企業の活動を知る研修で、鹿島は受入れを継続中



呉市立広南小学校でニホンミツバチに関する体験型出張授業を実施

の協力依頼や作業場所等の提供をしています。

また、1994年から使用済み切手やプリペイドカードを回収し、途上国での植林・緑化活動に役立てる「鹿島グリーンアジェンダ」を続けています。各部署に回収箱を設置して定期的に取りまとめています。

財団を通じた
学術・文化・芸術の振興

鹿島は企業市民として学術・文化・芸術活動を積極的に支援しています。特に5つの財団の事業を通じて長年学術や文化振興に寄与しています。

公益財団法人 鹿島学術振興財団

1976年設立。都市・居住環境の整備及び国土・資源の有効利用等による国民生活環境の向上、日本の学術及び文化の向上発展に寄与することを目的として、研究助成、研究者交流援助等の事業を行っている。2015年度は合計41件、総額5,000万円の助成・援助を実施。毎年助成を行った研究の成果発表を行っている。



第38回研究発表会(2015年11月)

公益財団法人 鹿島美術財団

1982年設立。美術の振興を図り、日本の文化の向上と発展に寄与することを目的として、美術に関する調査研究助成、出版援助、国際交流援助、美術普及振興を行っている。2015年度は合計64件、総額4,338万円の活動を実施。毎年、助成した研究の中から優れた成果を挙げた者に対し、「鹿島美術財団賞」を授与し、研究発表会を開催している。



2016年財団賞授賞式、助成金贈呈式、研究発表会(2016年5月)

一般財団法人 鹿島平和研究所

1966年設立。国際平和の推進と日本の安全確保などに寄与することを目的とし、国際間の平和・安全・経済、日本の外交に関する諸問題の調査研究とその援助、研究成果の出版を実施している。

公益財団法人 渥美国際交流財団

1994年設立。奨学支援事業と留学生を通じた国際交流事業を行っている。2015年度の12名を含め、これまで42カ国・地域、253名に奨学支援を実施。また、奨学支援終了後も続くネットワークの構築を目指しており、世界各国で大学教員になっている元奨学生が主体となって、毎年国内だけでなく、北京・ソウル・台北・マニラなどでシンポジウム・フォーラム・ワークショップ・スタディツアーなどを開催している。



2015年度ふくしまスタディツアーでの稲刈り風景

公益財団法人 鹿島育英会

1956年設立。国内の大学生及び外国人留学生に対して奨学援助。2015年度は留学生5名を含め、全52名に総額2,900万円の奨学金を支給した。